

機能等が向上していくことの喜びと、受診のために外出する機会が増えて、高齢者の閉じこもり予防とQOLの向上へとつながったのではないかと考える。

第89回：2017年9月28日（木） 座長：山田隆文

第6回国際歯科技工学術大会 第39回日本歯科技工学術大会 ～学生テクニカルコンテスト～

高橋圭太（歯科技工士学科）

平成29年5月27,28日に台湾で開催された、第6回国際歯科技工学術大会及び第39回日本歯科技工学術大会に参加したので報告した。

今回、本学から歯科技工士学科2年生の竹内梨帆さんが学生テクニカルコンテストに参加し、木暮教授、飛田教授、高橋が同行した。日本、韓国、台湾から計100名が参加し、彫刻時間は1時間、彫刻部位は上顎左側中切歯、下顎左側第二大臼歯であった。

結果として、残念ながら入賞には至らなかった。練習量、技術、スピードにおいては問題なく十分な実力はあったが、主な原因として、彫刻部位に下顎左側第二大臼歯が選ばれたことがあげられた。評価基準は非公開であった。事前の情報収集も不十分であったことが反省点である。

今回の経験を経て、今後は彫刻の練習量ばかりを意識せず、練習内容の視野を広げた指導を行っていく。また、様々な彫刻部位にも学生が対応できるような指導を心がけ、今後の学生の技術、知識の向上に貢献したいと考えている。

地域で目指す食と栄養の支援 多職種への歯科訪問診療の紹介

小林 梢（附属歯科診療所）

牧野真理（附属歯科診療所）

地域包括ケアシステムに伴い、地域の病院が介護の現場を理解し、医科と歯科、および医療と介護が連携して高齢者や障害者の食と栄養を支援できる地域が一体となった体制づくりを目指し、にいがた西地区食と栄養サポートネット（INS ネット）を立ち上げた。運営検討メンバーは、新潟医療センターと明倫短期大学が主となり多職種で構成されている。

今回、私たちは第2回地域交流研修会を開催し、訪問歯科診療の内容と、口腔ケアの必要性と実践的な取り組みをテーマにした講習を行い、参加者から様々な意見をいただいた。歯科治療・訪問歯科診療

に対する疑問や、歯科技工士の職域に興味を持っていただいた事など、学内にその内容を報告した。

第90回：2017年10月26日（木） 座長：飛田 滋

歯科衛生士国家試験と入学時基礎学力調査 －3年制教育課程において－

平澤明美（歯科衛生士学科）

本学歯科衛生士学科では、学力や入学動機など多様な学生を受け入れざるを得ない状況の中、平成17年入学生以降、2年制から3年制教育課程で入学時基礎学力調査を実施してきた。3年制教育課程開始の平成21年3月までの歯科衛生士国家試験合格率と入学時基礎学力調査の得点には有意に相関があり、国家試験合格率の年次推移は大きな変化は表れていなかった。その後平成22年入学生の基礎学力調査の得点が過去最低点を示したが、平成27年入学生までは得点が上昇傾向に転じていた。しかし、本年入学生の基礎学力調査の得点は平成27年と比較して明らかに低くなっている。また3年制教育課程は数回の変更が実施され、そのたびに授業時間が減少し、本年入学生は3年制教育課程の中で最低の授業時間数ある。基礎学力調査から国家試験合格率向上のため、学習意欲の維持・学力向上のために多様な補習を実施してきたが、平成29年度生はより強固な対策の必要となる。

学会テーマに関するワークショップ

ファシリテーター：植木一範（明倫短期大学学会委員長）

第91回：2018年1月25日（木） 座長：飛田 滋

平成28年度教育活性化補助金申請報告会

植木一範（歯科技工士学科）

木暮ミカ（歯科衛生士学科）

渡邊美幸（歯科衛生士学科）

天池千嘉子（歯科衛生士学科）